

急増する長期欠席 児童・生徒の生活・学習支援の あり方を考える

ウェビナー案内

本ウェビナーでは、文部科学省の調査による全国各地での長期欠席児童・生徒の急増の事態を受け、その状況のさらなる分析と、オンライン等による生活・学習支援のあり方について検討することを目的とします。

日時
2022年
2 / 12 土 15:10~17:00



会場

オンライン開催

※配信拠点:京都教育大学

(Zoomによるライブ開催 + YouTubeによる後日オンデマンド配信)

対象

学校教員、大学教員、大学生、一般

定員500名

参加費
無料

事前
申し込み制

総合司会

中俣 尚己 (京都教育大学 准教授)

関連科研費

- 原 清治 「ネットいじめの発生構造に関する日英比較研究
—大規模・同時調査による実態分析—」
基盤研究(B) 19H01648
- 土井 隆義 「現行少年司法制度における人間科学的知識の
使用法をめぐる歴史社会学的研究」
基盤研究(C) 19K02097
- 黒田 恭史 「外国人高校生の中退率7.4倍を改善する
多言語対応版数学動画コンテンツの開発と普及」
挑戦的研究(萌芽) 20K20824
- 鈴木 翔 「中高生の同輩集団内に形成される力関係の
メカニズムの解明」
若手研究(A) 16H05923

申し込み方法

Googleフォームからのお申込み

<https://forms.gle/BHxa8oy3jnen2VeW7>

※YouTubeによる後日オンデマンド
配信のみ視聴の場合は申し込み不要



申し込み締切日

2022年2月6日(日)

※2月8日(火)頃にZoom視聴のURLを返信

プログラム

15:10~15:15	開会挨拶・趣旨説明 黒田 恭史(京都教育大学 教授)
15:15~15:35	講演Ⅰ「長期欠席する児童・生徒急増の背景について考える —大規模調査から見てくる子どもたちの実態を中心に—」 原 清治(佛教大学 教授・副学長)
15:35~15:55	講演Ⅱ「社会的孤立と不登校 ~相対的剥奪の観点から考える~」 土井 隆義(筑波大学 教授)
15:55~16:15	講演Ⅲ「長期欠席する児童・生徒の学力を支えるYouTube算数・数学動画」 黒田 恭史(京都教育大学 教授)
16:15~17:00	総合討論「長期欠席児童・生徒の生活・学習支援のあり方」 指定討論者 鈴木 翔(秋田大学 准教授) パネリスト 原 清治(佛教大学)、土井 隆義(筑波大学)、黒田 恭史(京都教育大学)

主催:京都教育大学教育研究改革・改善プロジェクト「SDGsの実現に向けたハイブリッド型大学講義システムのあり方」
後援:京都府教育委員会・京都市教育委員会

問い合わせ先

京都教育大学教育学部 黒田 恭史 (ykuroda@kyokyo-u.ac.jp)

急増する長期欠席
児童・生徒の生活・学習支援の
あり方を考える

ウェビナー案内

■ 講演者プロフィール

講演者・指定討論者略歴

原 清治

(佛教大学 教授・副学長)



1960年、長野県生まれ。専門は教育社会学、学校臨床教育学。神戸大学大学院博士後期課程修了(学術博士)。ネット社会における子どもたちの人間関係やいじめ、不登校の問題を中心に研究。著書に『ネットいじめの現在』(ミネルヴァ書房、2021年)などがある。

土井 隆義

(筑波大学 教授)



現代の青少年の生きづらさとそこから派生する社会病理について、とくに人間関係論の観点から考察をおこなっている。著書に、『友だち地獄』(ちくま新書、2008年)、『キャラ化する／される子どもたち』(岩波ブックレット、2009年)、『つながりを煽られる子どもたち』(岩波ブックレット、2014年)などがある。

黒田 恭史

(京都教育大学 教授)



2016年より、様々な困りごとに対応すべく、小学校から高等学校までの多言語対応版算数・数学動画をYouTubeサイトで公開し、学習支援を行っている。編著書に『動画で学ぶ算数授業』(明治図書、2022年予定)、『中等数学科教育法序論』(共立出版、2022年予定)などがある。

鈴木 翔

(秋田大学 准教授)



1984年、秋田県生まれ。教育社会学者。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。主な研究テーマは中高生の交友関係。著書に『教室内カースト』(光文社新書、2012年)、『現代社会論』(共著、有斐閣、2015年)などがある。

